

津山中央病院 連携広報誌

2026年  
6月号

# メディネット



Vol.272



満濃池公園のあじさい（香川県仲多度郡）

撮影 徳田名誉院長

私たち津山慈風会は、地域の皆さんにやさしく寄り添います

## Topics

### 皮膚科で使用可能な分子標的薬について

# 皮膚科で使用可能な分子標的薬について

津山中央病院 皮膚科 主任

みずた やすき

水田 康生

専門分野

・皮膚科全般

専門医・指導医

・日本専門医機構日本皮膚科学会  
認定皮膚科専門医



皮膚科領域における分子標的薬は、乾癬やアトピー性皮膚炎などの免疫性皮膚疾患に対し、特定の炎症性サイトカイン(IL-17, IL-23, IL-4/13 等)や細胞内伝達分子(JAK)を標的にして、高い治療効果を挙げる生物学的製剤や内服薬です。本邦では、皮膚科領域では約20種類もの分子標的薬が使用可能となっています。従来の薬で効果不十分な重症例に有効ですが、高額であるため、患者さんへの十分な説明に加え、皮膚科医の適切な導入前の精査と診断の上での使用が望まれます。

対象疾患としては、アトピー性皮膚炎をはじめとして、慢性蕁麻疹、尋常性乾癬、化膿性汗腺炎、円形脱毛症と幅広く、近年では結節性痒疹や水疱性類天疱瘡にも適応が通り、当院でもそれまで難治であった患者さんの治療に非常に役立っており、治療の幅が広がっています。

従来の免疫抑制剤よりも作用が選択的で副作用のリスクは低いものの、免疫抑制に伴う感染症(特に結核など)の併発には特に注意が必要です。アトピー性皮膚炎、結節性痒疹、水疱性類天疱瘡、蕁麻疹の生物学的製剤については定期的な副作用の検査は必須ではありませんが、種類によっては定期的な血液検査、胸部レントゲン(またはCT)が推奨されており、当院でも定期的な検査を行い、必要であれば他科と連携し適切な副作用のフォローを行っています。

効果は高いのですが、薬価も高い点が治療選択の際のネックではあり、高額療養費制度を活用しても金銭面で導入が困難な症例もあるため、その場合は患者さんの生活を考え十分ご相談の上、従来の治療と比較しメリットデメリットを考慮し治療方針を決定しています。しかし、やはり分子標的薬は従来の治療と比較し明らかに満足の行く治療効果を得られる症例が多く、導入後は継続投与を希望される方が多い印象です。

津山中央病院(関連病院の津山中央記念病院含め)は、津山市で皮膚科専門医が在籍している唯一の総合病院であり、適応であれば全ての分子標的薬が使用可能です。総合病院の利点である、他科との迅速な連携が可能な恵まれた環境であるため、前述したいずれの対象疾患に対しても導入経験が多数あります。特にアトピー性皮膚炎に対しての新規導入は多く、地域を支えてくださっているクリニックの先生方からご紹介いただいた難治性の症例に対しても使用し、効果が得られています。尋常性乾癬、結節性痒疹についても、当院で導入希望がある症例、従来の治療で難治な症例には積極的に導入していますので、必要であればいつでもご紹介いただければ幸いです。

津山市は皮膚科が少ないですが、今後も津山市の皮膚科診療を、他院、地域のクリニックの先生方と連携させていただき、支えていきたいと思っております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

## ～水田医師 診療日のご案内～

	月	火	水	木	金
午前	水田	水田	水田(予約のみ)	水田	水田
午後	水田	—	水田(予約のみ)	—	—

## 入退院支援センター長交代のご挨拶

岩本 広美前センター長に代わり、令和8年4月1日付けで入退院支援センター長に就任いたしました山中 美佳です。どうぞよろしくお願いいたします。

入退院支援センターは平成24年4月に開設し、看護師・医療ソーシャルワーカー・臨床心理士・公認心理士・地域連携室・薬剤師・栄養士などの多職種が連携しながら業務を行っています。がん相談支援センターも併設しており、がん患者さんやご家族の不安な気持ちの傾聴や情報提供も行っています。

入院された患者さんがより早い在宅療養への移行や、スムーズに転院をしていただけるよう地域医療機関とも連携し、効率的なベッドコントロールを行っています。

そして入院される患者さんにご家族が安心して入院治療を受けていただけるように予定入院前に面談を行い、不安の軽減につとめています。昨年は予定入院の8～9割となる4552件の面談を実施することができました。医療が高度・複雑化するなかで平均在院日数も短縮しており、入退院支援センターの果たす役割の重要性を強く感じています。

これまで入退院支援センターの基盤を築いてこられた歴代センター長の「患者さんに優しく寄り添う心」をしっかりと受け止め、県北の医療の砦となるべく入退院支援センタースタッフ一丸となって精進していきたいと思っております。

今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



入退院支援センター長  
山中 美佳

# セミナー・講演会情報

## ●CC セミナー (Web 併用のハイブリッド形式) ※日本医師会生涯教育講座申請中 (1.0 単位: CC 12)

講演 『 県北における放射線科 IVR について 』

- ・ 講師 放射線科 部長 川端 隆寛 先生
- ・ 日時 2026 年 6 月 9 日 (火) 19:00~20:00
- ・ 場所 津山中央病院 研修センター2F 講義室

## ●感染対策研修会 ※日本専門医機構認定共通講習 (感染対策)

講演 『 結核について 』

- ・ 講師 感染症内科 部長 藤田 浩二 先生
- ・ 日時 2026 年 6 月 24 日 (水) 17:45~19:00
- ・ 場所 津山中央病院 健康管理センター3階 慈風会記念ホール

## 第 62 回 岡山ストーマリハビリテーション研究会のご案内

6 月 13 日 (土)、第 62 回 岡山ストーマリハビリテーション研究会を、津山中央健康管理センター3階慈風会記念ホールにて開催します。今回は「持続可能なストーマリハビリテーションを目指して」をテーマに、災害対策に関する教育講演や、ストーマ保有者の生活支援を考えるシンポジウムを予定しています。医師・看護師をはじめ、多職種で学びを深めながら、地域で安心して生活を送るために必要な支援や連携について考える機会となります。ストーマケアに携わる方はもちろん、関心のある皆さまのご参加をお待ちしております。



第62回  
岡山ストーマリハビリテーション研究会

持続可能な  
ストーマリハビリテーションを目指して

日時 2026年6月13日(土)  
9:30~12:30(予定)

会場 津山中央健康管理センター  
3階 慈風会記念ホール  
〒708-0841 岡山県津山市川崎1756番地

参加費 1,000円

教育講演  
「岡山県のストーマ保有者の  
災害対策について」  
岡山大学病院 皮膚・排泄ケア認定看護師  
青井 美由紀 先生

シンポジウム  
「仮) ストーマ保有者の生活を  
支えるために私たちができること」

当番世話人 篠浦 先 (津山中央病院 外科)  
事務局 吉田 美佳 (津山中央病院 看護部)

一般財団法人津山慈風会 津山中央病院  
〒708-0841 津山市川崎1756番地  
TEL 0868-21-8111  
FAX 0868-21-8200